LINN MAJIK

OWNERS MANUAL

MUSIC FOR LIFE

音楽　それは快適な生活のために

音楽は生活を豊かにしてくれます。

しかしそれは、生で聴く演奏や、きわめて高いクオリティで
再生された音楽だけが持っている力です。
そして優れた HI-FI は、様々な音楽の感動、
喜びに触れる機会をふやしてくれます。

LINN HI-FI を通して、生活をもっと快適に、豊かにしてくれる、
たくさんの素晴らしい音楽と出会っていただければ…。
それが私たちの願いです。

LINN ***MAJIK*** *PRE-MAIN AMPLIFIER*

MAJIK はその優れた音質の点だけでなく、使い勝手の点からも前例のないプリメインアンプです。リンの高い技術により、最新の表面実装技術（サーフェス・マウント）を全面的に採用し、マイクロプロセッサー制御や入力切り替えおよび音量調整を半導体スイッチによって行うことが初めて可能になりました。

MAJIK はプリ部出力とパワー部入力が独立しているため、それぞれを別けてお使いいただくことができます。またチューナー・モジュールやマルチアンプ用モジュール、マルチルーム用モジュール等を内蔵させてグレードアップすることにより、可能性を大きく広げることができます。

他のコンポーネントと同様に、MAJIK は優れた入力ソースを用いたときに最高の能力を発揮します。ＣＤプレーヤー、ＬＰプレーヤー、チューナー の性能が向上すればするほど、再生音のクオリティも向上するのです。

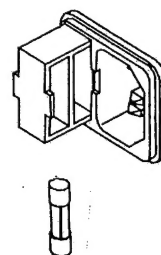
目 次

1．はじめに　(電源を入れる前に)

a. 内容物

MAJIK　プリメインアンプ本体
リモコン (このリモコンは他の LINN 製品の基本的な操作も行えます)
取扱説明書
電源コード
スペアヒューズ

b. ヒューズ

電源コード接続コネクタ左側のヒューズ挿入部フタを開け、６．３Ａ－１００Ｖヒューズを装着してください。

<u>※できるだけアースをお取り下さい。</u>
詳細は販売店におたずね下さい。

2．設置と接続

a. 設置場所

- MAJIK はお客様のお使いいただき易いところに設置していただけますが、ごくまれに次のような症状が出ることがありますのでご注意下さい。

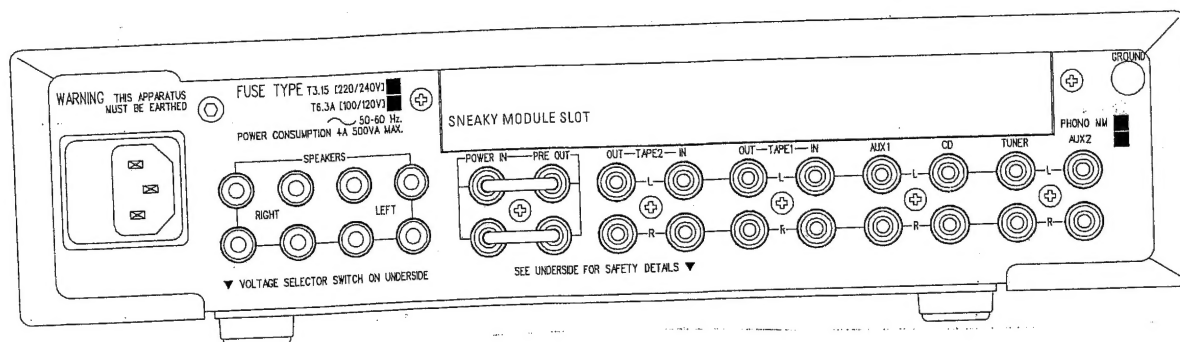
- MAJIK には磁束もれの少ないトロイダルトランスを搭載しておりますが、フォノ回路のような非常にデリケートな回路に接近しすぎるとハムが出ることがあります。そのような場合は設置場所を変えてください。

- また、MAJIK はコンパクトなボディにパワーアンプを内蔵していますのでご使用状態で少し発熱します。放熱効果を高め、空気の循環を良くするため、アンプのまわりに数センチのすきまをとり天板の放熱口をふさがないようにしてください。通気状態が良ければMAJIK の作動には問題なく、たとえ保護回路が動作していても温度が下がれば自動復帰します。

- 高感度リモコンを使用していますので、お部屋のどこにでも設置していただけますが、直射日光はお避け下さい。ラック等の色付きガラスはほとんどの場合差し支えありません。

- インバーター用の照明器具は場合によりリモコン機能のついたオーディオやその他の機器の操作に障害をおよぼす場合がございます。また、音質的見地からもあまりお勧めできません。

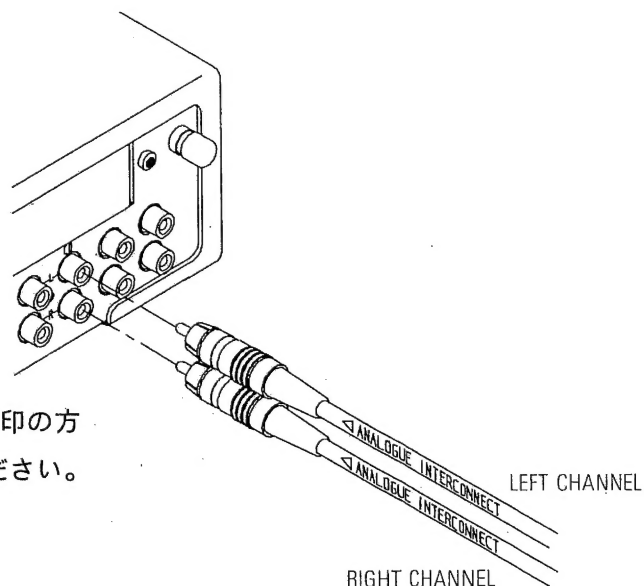
<u>注意　：　ケーブル類の接続は必ず電源を切ってから行ってください。</u>

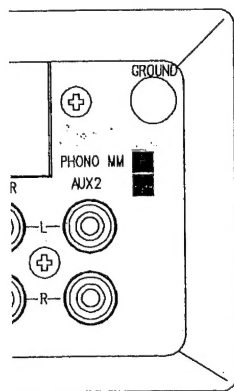
b. 接続

1） MAJIK と入力ソースの接続

MAJIK には6系統の入力端子があります。できるだけたくださんの端子をお使いになってみてください。

ＣＤプレーヤー、ＬＰプレーヤー、チューナー等の音楽ソースはもちろんですが、ＴＶ、ビデオ、衛星放送等からの出力も接続なさってみてください。映像をより一層お楽しみいただけるようになるでしょう。接続に必要なケーブル類はリン販売店で取り扱っております。

すべてのMAJIK の入力端子はＲＣＡピン端子です。左右チャンネルを間違えないように配線してください。

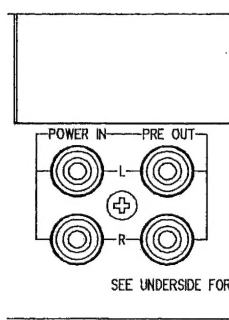
ANALOGUE INTERCONNECT
ANALOGUE INTERCONNECT
LEFT CHANNEL
RIGHT CHANNEL

※ LINNのピンコードには方向性が表記されています。矢印の方向が入力ソース から MAJIK へ向かうように接続してください。

2）ＬＰプレーヤーとの接続

MAJIK-P は、ＬＰプレーヤーを再生するフォノ回路が搭載されています。

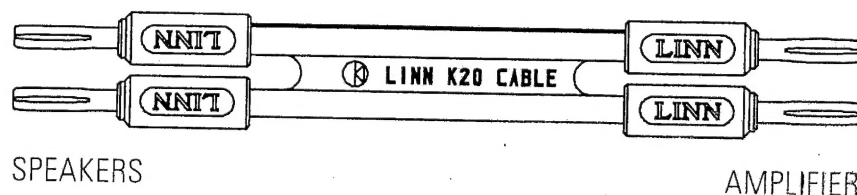
ＬＰプレーヤーのアース線をフォノ端子上方のねじ式端子に接続し、ピンプラグを入力端子に接続してください。MAJIK-L にはフォノ回路は接続されていません。その場合リアパネルのＡＵＸ２欄にマークがしてあります。

3）テープデッキとの接続

MAJIK には2台までテープデッキを接続できます。MAJIKのＴＡＰＥ１　ＩＮ端子は１台のテープデッキの再生（ＰＬＡＹ）端子と、ＴＡＰＥ１　ＯＵＴ端子は同じテープデッキの録音（ＲＥＣＯＲＤ）端子とそれぞれ接続してください。もう１台のテープデッキをお使いになるときも同様に接続してください。

4）他アンプと共に使用する場合

MAJIK のプリ部とパワー部は完全に独立しています。そのためシステムをLINN KAIRN や LINN KLOUT のようなより高品位なアンプを購入することによってグレードアップできます。

- MAJIK を他のパワーアンプと組み合わせてプリアンプとして使用するには、ＰＲＥ　ＯＵＴ端子とＰＯＷＥＲ　ＩＮ端子を接続しているリンクを外してMAJIK のＰＲＥ　ＯＵＴ端子とご使用になるパワーアンプの入力端子とを接続してください。
- MAJIK をパワーアンプとして使用するには、上記のリンクを外してお持ちのプリアンプの出力端子とMAJIK のＰＯＷＥＲ　ＩＮ端子とを接続してください。
- MAJIK に他のパワーアンプを追加することによって複数アンプでの駆動やマルチアンプシステムを構成することができます。LINN LK100 、KLOUTと MAJIK のパワー部は同一ゲイン（28.5dB)で設計されていますのでどのような組み合わせも可能です。詳細はリン販売店までお問い合わせください。

5）スピーカーとの接続

MAJIK は LINN KNEKT バナナプラグを用いてスピーカーシステムと接続します。その際 K20、K400のような高品質のケーブルのご使用をお勧めします。 MAJIK は、LINN TUKAN、KEILIDH のようなバイワイヤリング対応型スピーカーのために２系統の出力端子が設けられています。バイ-ワイヤリングが可能なスピーカーシステムはバイ-ワイヤリングで駆動することによってさらに高い性能を発揮します。
リンのスピーカーケーブルには方向性があります。方向性を正しくお使いいただくことによって製品が生かされます。リンのスピーカーケーブルには製品名が刻印されていますので、上図の様に接続してください。